



希 望

日立一高附属中学校
第1学年だより
No. 7
11月1日発行

11月



初めての体育祭を終えて…

先月9日に、3年に1度の中高合同体育祭が行われました。当日は、澄み渡る青空のもと、それぞれの競技に精一杯取り組む姿や、先輩たちの競技を見て応援する姿など、初めての体育祭を存分に楽しむ様子が見られました。

学年種目は前期・後期学級委員が中心となって考え、用具の準備をしたりみんなへの説明をしたりと、限られた時間の中でしっかりと活動してくれました。2人組で協力して課題（風船割り、なわとび、けん玉、黒ひげ）をクリアし、バトンのタピオカを増やしながりにレーする「みんなタピオカになあれ☆」、引いたベストの色で走る距離が変わり、4人組で棒を持ってコーンを回る「タイフーン8号」の2種目が学年種目でした。また、体育委員の生徒たちも、全体の計画・準備、競技審判などの役割を果たし、活躍しました。

次の体育祭は一高生として参加することになります。学校全体の一体感を感じることができた体育祭は、生徒たちにとって、中学校生活のよい思い出の一つになったと思います。



～ひとこと感想～

- ・「みんなタピオカになあれ☆」で、2人で黒ひげに速くたくさん刺したことがとても楽しかった。また、「ハリケーン8号」のピブスに書いてあった言葉もおもしろかった。（1組：金子 和真）
- ・ハリケーン8号が一番思い出に残った。「足が速い人は外側に…」「力が強い人は内側に…」など、みんなで作戦を立てながら協力して戦うことができた。（1組：島田 碧夏）
- ・負けて悔しかったけど、とても楽しかった。特にタピオカの種目が良かった。ペアと協力して風船を割ったり、なわとびを跳んだりしたのが一番楽しかった。（2組：深川 杏蒔）
- ・チーム内で団結して作戦を立てたり、練習したりして、結果負けてしまったけど悔いは残らなかった。一緒に戦って応援して、よりクラスの仲が深まった。（2組：石田 奈海）



11月の行事予定

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 (金) 更衣完了 (完全冬服)
さわやかマナーアップキャンペーン | 部活終了 17:15
完全下校 17:30 |
| 3 (日) 文化の日 第2回英検 (2次) | |
| 5 (土) 県新人戦 (～9日) | |
| 7 (木) 委員会活動 | 18 (月) 英語力テスト |
| 11 (月) 保護者面談 (～18日)
G-TEC | 19 (火) マラソン大会 (笠松運動公園)
※詳細は学校から出されたお便りをご覧ください。 |
| 12 (火) 県駅伝 | 20 (水) 映画鑑賞会「ある町の高い煙突」 |
| 13 (水) 県民の日 | 23 (土) 勤労感謝の日 |
| 14 (木) 生徒総会 | 28 (木) 第3回定期考査 |

◆HRセミナー (10/19) ～生徒たちの感想～



「HRセミナーで学んだこと」 1組 成沢 晴香

私は、古田土先生と三ツ堀先生のお話を聞き、感じたことが2つあります。

1つ目は、夢や目標をもつことの大切さです。弁護士の古田土先生は、1つの目標に向かって努力した経験が、大学受験や司法試験の勉強で自分を支えてくれたとおっしゃいました。私も自分を支えてくれるような努力をして、将来のかたへにしていきたいな、とお話を聞いて考えました。

2つ目は、勉強することの重要性です。三ツ堀先生は、勉強するのは将来の選択肢を狭めないために必要だとおっしゃいました。今からしっかりと勉強をし、将来の夢を叶えられるように、また、将来活躍できる人になれるように、頑張りたいと思いました。

2人の先生のお話を聞き、やはり、今から頑張ることが大事なのだ学びました。HRセミナーで学んだことをむだにしないため、今からできることをしっかりと行い、自分の将来に活かしていきたいです。

「ロボティクスについての話を聞いて」 2組 中舘 啓人

僕は、ロボットについて話してくださった三ツ堀先生のお話の中で、「シンギュラリティ」という言葉が印象に残りました。機械化が進む今、2045年に人工知能が人間の知能を上回ると言われています。ロボットの技術が上がることで、メリットもありますが、デメリットも同じくらいあることが分かりました。これからは、ロボットの良い点も生かしながら、ロボットと人間が共存できる世の中をつくっていくべきだと思いました。

また、三ツ堀先生が、自分で会社をたち上げて、今は競争が激しいシリコンバレーにも進出しているということを聞いて、とても驚きました。会社をたち上げて満足しないで、さらに会社を大きくしようと努力していることに感動しました。

最後に、先生が話してくださった中で、「勉強は、将来の選択肢を狭めないために必要なものである」という言葉が心に響きました。この言葉をしっかりと胸に留めて、自分で自分の将来を有限にしまわれないように一日一日を過ごしていきたいです。